

令和5年度 一関市社会福祉協議会 事業報告

新型コロナウイルス感染症の影響による経済や社会活動の停滞は、社会的な支援を必要とする人々を顕在化させた。国では昨年5月より、新型コロナウイルスを感染法上、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げたが、社協が進める福祉事業にも大きな影響を及ぼし、介護事業では感染対策を行う中でのサービス提供、地域福祉事業ではつながりを絶やさないための工夫、相談事業ではコロナ禍による生活相談への対応など、事業運営の工夫や新たな対応が求められた。

事務事業の推進は、基本理念『支え合い 幸せ感じる 地域の暮らし』に基づき、福祉はみんなで支え合うという一人ひとりの「思いやり」と「助け合い」の結の心を育むことと同時に、コミュニティの構築と共生のまちづくりを進めるため生活に役立つ福祉サービスの提供、住民が安心して暮らすことができる福祉事業の推進に努めた。

1. 重点事業の実施状況

(1) 第2次一関市地域福祉活動計画の実践

令和5年度は、第2次一関市地域福祉活動計画の中間年として、15項目の推進目標に取り組んだ。地域福祉コーディネーターによる地域づくり支援では、生活課題の解決を図るための取り組みとして、ふれあいサロンの場を活用した買い物支援のほか、新たに一関地域萩荘地区で子育てカフェを地域協働体等と協力して開催し、子育てサロン等の居場所づくり支援に取り組んだ。

また、千厩地域小梨地区で支え合いマップの話し合いや作成を行い、地域の防災につながる仕組みづくり支援を展開した。

市内社会福祉法人との懇談会を主催し、多機関連携の研修や高校との連携による取組等について懇談を行った。その他、法人が行う子ども食堂等の取組みに協力した。

食料支援事業は、個人、企業、団体からの食料寄附を活用し、生活にお困りの方やひとり親家庭に配布するとともに、子ども食堂への配布にも取り組んだ。

地域住民、団体等と連携した取り組みから出てきた情報を、関係者、関係団体等と共有し解決に向けた継続支援を行った。

(2) 相談支援の充実

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に生活費の貸し付けを行う「コロナ特例貸付」の償還が令和5年1月に開始されたが、未だ生活が苦しい世帯などに対して、生活福祉資金貸付事業と、生活困窮者自立相談支援事業が連携して、生活状況把握のため電話や訪問でのフォローアップ支援に取り組んだ。

また、深刻な困窮状態にある方に寄り添い、食料支援や宿泊先の提供など社協独自事業として緊急一時支援事業を実施した。

権利擁護支援については、市で設置する一関市成年後見支援センターの業務の一部を受託し、一関市における成年後見制度利用促進に関わる業務を行った。

(3) 介護保険事業、障がい者支援事業の推進

居宅介護支援事業所の拠点化・集約化を実施するとともに、訪問介護事業所及び訪問入浴事業所の実態把握に努めた。

障がい者支援事業は、就労継続支援事業所千厩ワークプラザにおいて利用者の就労の場や生産活動の機会を提供し、自立した日常生活と社会生活を営めるよう支援した。

その他、介護保険事業や障がい者支援事業における虐待防止等委員会部門委員会の開催や感染症対策の強化を目的とした感染症対策委員会の設置、更には自然災害・感染症の感染拡大などの有事において介護サービス等が継続的に提供できるよう各事業所における業務継続計画（BCP）を策定した。

(4) 一関市社会福祉協議会中期経営計画の推進

① 安定した法人経営と地域から信頼される組織づくり

中期経営計画の進捗を管理するため、法人運営懇談会や評議員会において、計画の進捗を報告し、意見をいただく中で、事業課題の解決に向けた取り組みを協議した。

組織の見直しについては、法人運営懇談会において、役員、評議員の選出区分や定数の検討を行い、次回の任期から選任区分及び定数の見直しをすることとした。

大規模災害や感染症拡大等の有事の際に即応できる体制を整えるため、業務継続計画(BCP)を策定した。

また、財源の確保などの経営課題については、財政状況を確認し、今後の経営について協議を行った。

職員の意識改革と人材育成については、一関市社会福祉協議会研修体系による職階等の職員研修を実施しながら、職員が個々の能力と求められている役割を最大限発揮するため、県社協や県事業団が行う階層別職員研修に職員を派遣し、職員の資質と対応能力の向上を進めた。

また、メンタルヘルス研修やハラスメント研修を行い、介護サービスの提供や相談支援等、心身ともにストレスをうけやすい業務への対応とハラスメント防止の基礎知識と遵守すべき事項等を定め、ハラスメント対策に努めた。

② 地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくり

生活支援コーディネーター等と連携協働できる体制の構築については、生活支援コーディネーターと地域福祉コーディネーターが、市内8地域活動の成果と今後の活動課題の話し合いを実施した。

また、地域福祉コーディネーターの定例会を実施し、事例検討や情報を共有し、地域づくり支援を進めた。

重層的支援体制整備事業に向けた連携強化については、その構築に向け市と事業の考え方や体制イメージについて情報共有、取り組みについて検討を行った。

③ 地域住民が安心して暮らせる相談支援と権利擁護体制の構築

成年後見制度の体制整備については、先進地視察として、県内(八幡平市、カシオペア権利擁護センター)視察を行うとともに、関係機関や任意団体、地区福祉活動推進協での講演、講話(センターの役割、制度概要、利用の考え方等)を行った。

④ 住み慣れた地域で安心して暮らせる介護・障がい者支援サービスの実施

安定的かつ持続可能な介護事業所の運営に向けて、居宅介護支援事業所の拠点化・集約化を実施した。

また、令和4年度から2ヶ年計画で取組んだ新介護システムへの統一は、全ての対象事業所のシステム移行を完了した。

介護人材の確保については、介護職員初任者研修による人材確保に努めた。また、利用者ニーズに対応できる人材を育成するため、各事業所が作成する研修計画に基づき職員のスキルアップに努めるとともに、キャリアアップに向けた外部研修会への職員派遣を行った。

2. 各課、各支部の事業報告

総務課

・中期経営計画の進捗の管理、組織の見直し、財源の確保などの経営課題に対応した。

事業名	内 容
理事会	法人運営のため、理事会を5回開催した。 第1回 令和5年 6月 8日 令和4年度事業報告、収支決算 他8件 第2回 令和5年 6月 22日 会長・副会長・常務理事の選定 第3回 令和5年 9月 4日 補正予算、第2回評議員会の招集 第4回 令和5年 12月 1日 定款の一部変更、補正予算 他39件 第5回 令和6年 3月 11日 補正予算、第4回評議員会の招集 他12件
法人運営懇談会	中期経営計画・財務状況等について、懇談会を1回開催した。 第1回 令和5年 10月 20日 中期経営計画の推進状況、役員及び評議員等の選任区分・定数の見直し
評議員会	適正な法人運営を図るため、評議員会を4回開催した。 第1回 令和5年 6月 22日 令和4年度事業報告、収支決算 他2件 第2回 令和5年 9月 22日 補正予算 第3回 令和5年 12月 22日 定款の一部変更、補正予算 第4回 令和6年 3月 22日 補正予算 他2件
監事会	監事による出納調査、決算監査（事業報告、計算書類等）を実施した。 ・出納調査 令和5年5月16日、8月28日、11月28日、 令和6年2月27日 ・決算監査 令和5年5月16日
三役会議	法人運営を図るため、理事会案件等について、会長、副会長及び常務理事等による会議を6回、実施した。
支部運営委員会	支部の円滑な事業運営を図り、地域住民の意向を把握し地域福祉を推進するため、運営委員会を開催した。 ・一関支部 5年 6月 28日 令和4年度事業報告及び決算について 他3件 5年 12月 6日 令和5年度上半期事業報告について 他2件 6年 3月 13日 令和6年度事業計画について 他1件 ・花泉支部 5年 7月 18日 令和5年度花泉地域敬老事業について 他8件 12月 11日 令和6年度からの社協だよりの見直しについて 他4件 6年 3月 26日 令和6年度事業計画及び予算について 他5件 ・大東支部 5年 6月 23日 令和4年度事業・決算報告、令和5年度事業計画・予算、ケアプランセンターの集約について 他7件 9月 12日 令和5年度大東地域敬老事業、社協ふくし祭り「ゆいっこ広場」事業について 他8件 12月 8日 ひとり暮らし高齢者の集い「秋桜のつどい」、デイサービスセンター大東施設整備について 他6件 6年 3月 15日 令和6年度大東支部事業計画・予算、デイサービスセンター大東施設整備事業について 他6件 ・千厩支部 5年 7月 13日 令和5年度事業計画について 他2件 12月 8日 令和6年度千厩支部事業について 他1件 ・東山支部 5年 5月 22日 令和5年度事業計画及び収支予算について 他4件 9月 26日 令和5年度小地域福祉推進事業助成金について 東山地域敬老事業について 他6件 12月 7日 令和5年度介護保険事業収支状況について 他4件

	<p>6年3月18日 令和6年度一関市社会福祉協議会事業計画について デイサービスセンター東山の運営について 他3件</p> <p>・室根支部</p> <p>5年6月27日 令和4年度室根支部事業報告について 他2件 12月14日 令和5年度室根支部事業計画について 他2件</p> <p>・川崎支部</p> <p>5年5月26日 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について 他2件 12月14日 令和5年度川崎地域敬老事業の反省について</p> <p>・藤沢支部</p> <p>5年6月30日 令和4年度事業報告及び決算について 他5件 12月8日 介護保険事業について 他2件</p>
職員研修	<p>・ 社協が行う階層別研修に参加した。 市町村社会福祉協議会新任研修 3名</p> <p>・ 介護職員キャリアパス研修計画に基づき、研修に参加した。 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員編 3名 // チームリーダー編 1名 // 管理職編 1名</p> <p>・ 県社会福祉事業団等が行う研修に参加した。 15名</p> <p>・ 一関市社会福祉協議会研修体系による職階等の職員研修を実施した。 第1回職員研修「会長講話」 78名 ① 採用から3年目以上10年未満の職員 32名 ② 管理職職員 27名 ③ 採用から10年以上の職員 19名 第2回職員研修「メンタルヘルス研修」全職員（管理職を除く）28名 第3回職員研修「ハラスメント研修」 管理職職員 19名</p>
第18回一関市社会福祉大会	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら式典・講演、表彰状及び感謝状を贈呈した。 開催日：令和5年7月21日 場所：一関文化センター</p>
一関市総合福祉センターの管理運営	<p>市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を総合的に推進するための活動拠点として運営を行った。</p> <p>・開設日数 356日 ・利用件数 362件 ・利用人員 5,050人 ※前年度 ・利用件数 513件 ・利用人員 5,249人</p>

地域福祉課

・福祉課題や生活課題解決のため、地域住民と関係機関・団体等と連携した支援を行った。

事業名	内容
地域福祉活動推進事業	<p>地域福祉コーディネーターを支部の地域福祉担当者と兼務として、地域担当制で活動した。千厩地域において支え合いマップ作成の支援を行うなど、地域の福祉課題、生活課題の把握と、解決へ向けた取り組みについて相談対応を行い、地域住民や各関係機関等と協働して地域づくり支援を行った。</p> <p>地域福祉コーディネーター養成研修や地域福祉コーディネーターリーダー研修へ職員を派遣して、スキルアップを図った。</p> <p>活動延べ件数1,674件（地域からの相談260、支え合いマップ13、モデル事業28、サロン・居場所づくり317、ボランティア・福祉教育等138、まちづくり分野との連携76、個別支援301、研修22、その他519）</p>
小地域福祉推進事業	<p>地域の福祉課題を解決し、安心して豊かな生活を営むことができるようにするために、福祉活動推進協議会等に活動助成金を交付し、地域の自主的な福祉活動を支援した。</p> <p>・一関11地区 1,938,800円・花泉7地区 1,230,000円・大東6地区 1,278,000円 ・千厩4地区 919,000円・東山29地区 603,000円・室根20地区 545,000円</p>

	<p>・川崎1地区 373,000円 ・藤沢1地区 791,000円 合計79地区 7,677,800円</p>
社会福祉法人の連携強化	<p>社会福祉法人と事業連携を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者のお出かけ支援（お出かけ応援事業の開催） ・子どもの居場所づくり（食事会の開催） <p>市内社会福祉法人との懇談会の実施 11月30日 講義「地域の生活課題に向き合う多様な主体による協働」 県立大 佐藤哲郎教授 意見交換、法人が行う地域連携事業、高校生との連携の取組み</p>
シニア活動プラザの運営	<p>シニア世代の社会参加及び社会貢献活動の促進を図るため、相談支援や講座、セミナー等を開催したほか、シニアプラザレターの発行やホームページ等で情報を発信した。また、市民センター（まちづくり協議会）からの依頼を受けて開催講座等に健康長寿サポーターを派遣し、社会貢献活動につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営協力委員会3回開催 ・相談事業 120件 ※前年度133件 ・講座、セミナー等の開催 延べ参加者366人 ・シニアフェスタ（活動発表・情報交換会）の開催、来場者数約200人 ・シニアプラザレターの発行 年4回（5月、8月、11月、2月・各600部） ・ホームページ閲覧件数 2,019件 ※前年度2,336件 ・健康長寿サポーター活動 ①派遣件数11件、派遣延べ人数27人 ②フォローアップ研修 延べ参加者142人 ・交流室利用 739件、6,659人 ※前年度 720件、6,194人
幸せ感じる地域の暮らし事業	<p>一関地域、千厩地域、東山地域のモデル地区に対して地域協働体や民生委員児童委員協議会定例会等での事業説明や打ち合わせを重ね、ふれあいサロン等と移動販売業者のマッチングと継続支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩荘地区の地域協働体等と協働し「子育て支援カフェ」を開催したことにより、集いの場創設のきっかけづくりを行った。
社協だよりの発行	<p>地域福祉活動を啓発・促進させるため全戸に社協だよりを年4回発行した。第68号（5月）、第69号（8月）、第70号（10月）、第71号（1月）</p>
ホームページ等による啓発	<p>社協事業や地域福祉活動に関する情報を入手できるように、ホームページの内容の充実を図り、地域福祉活動に関する情報を発信した。</p> <p>閲覧件数18,961件 ※前年度 閲覧件数17,484件</p>
ふれあいサロン事業	<p>高齢者等の生きがい作りや、寝たきり、閉じこもり予防を目的に、定期的に開催するサロンに対し、活動助成金を交付した。また、ふれあいサロン相互の情報交換や活動内容の充実を図るための研修会や交流会を地域毎に開催した。感染症予防のため、開催を減らしたサロンがあった。</p> <p>サロン数 302か所（一関107、花泉46、大東37、千厩45、東山15、室根15、川崎16、藤沢21） ※前年度 311か所</p>
ひとり暮らし高齢者の集い事業	<p>65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に孤独感の解消、健康と生きがいの高揚、介護予防等を目的に地域毎に開催した。</p> <p>延べ参加者342人（花泉46、大東60、千厩124、東山30、室根14、川崎53、藤沢15） ※前年度 延べ参加者 769人</p>
在宅介護者の集い事業	<p>家庭で寝たきり等高齢者の介護にあたっている方を対象に、10月と2月に介護者同士の交流の場を設け、精神的な疲労軽減や介護技術の向上を目的に集いを開催した。</p> <p>延べ参加者24人 ※前年度 延べ参加者67人</p>

車いす貸出し事業	<p>高齢者や障がい者等の生活を援助するため、外出時等に使用する車いすを貸し出した。</p> <p>延べ貸出台数 161 台（一関 46、花泉 17、大東 13、千厩 23、東山 27、室根 9、川崎 7、藤沢 19） ※前年度 延べ貸出台数 137 台</p>
手話通訳者等派遣事業	<p>聴覚障がい者等が意思疎通に支障のある時、要請に応じ、手話通訳者等の派遣を行い、障がい者の社会参加促進および交流活動の充実を図った。</p> <p>派遣延べ人数 145 人、延べ派遣時間 200 時間</p> <p>※前年度 派遣延べ人数 142 人、延べ派遣時間 228 時間</p>
子育て支援事業	<p>一関市ファミリーサポートセンターの事業周知をより一層図り、育児の支援を行う協力会員と、育児の支援を受ける依頼会員、双方を兼ねる両方会員を組織化し、育児に関する相互支援活動を行った。また、子育て支援の相談・情報提供等を行った。</p> <p>会員数 636 人（依頼 481 人、協力 130 人、両方 25 人）</p> <p>利用件数 380 件（主な利用：保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助、保育所・幼稚園等の迎え及び預かり、幼稚園・保育園、学校等休み時の援助など）</p> <p>※前年度 会員数 631 人、利用件数 421 件</p>
子育てサロン事業	<p>孤立しがちな子育て家庭の育児不安の解消に資するとともに、未就学の子どもをもつ当事者同士がふれあい、仲間づくりを行う活動に対し助成を行い、地域における子育て世代の居場所づくりを行った。</p> <p>7 サロン（一関 4、千厩 1、東山 1、川崎 1） ※前年度 5 サロン</p>
ボランティアセンター事業	<p>コロナ禍のボランティア活動相談にも対応できるよう、ボランティアニーズと活動のコーディネートを行った。また、学校との連携を深め、福祉が身近なことだと感じてもらえるよう、小学校 8 校、中学校 2 校、高校 1 校へ福祉教育プログラムの企画や講師の調整等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター運営委員会 2 回開催 ・ボランティア保険の加入（活動保険 539 人、行幸用保険 74 件） ・ボランティア協力校の指定 17 校（小学 4、中学 9、高校 4） ・ボランティア講座等の開催（①中高生ボランティアスクール 延べ参加者 11 人、②高校生保育ボランティア体験 延べ参加者 15 人、③災害ボランティアセンター設置運営に係る研修訓練 参加者 40 人 ④一般向けボランティア講座 参加者 178 人）
敬老会開催事業	<p>敬老会の見直しについては、主催や進め方等、様々な意見が寄せられ、懇談を重ねてきた。その中で、令和 5 年度は市、社協、地区実施団体の三者が主催となり、多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、記念品の贈呈、友愛訪問等を行い、長寿をお祝いしたほか、感染症予防に配慮しながら、5 地区では集合形式での敬老事業を実施した。</p> <p>対象者：80 歳以上の高齢者 16,402 人</p>
緊急連絡カードの整備事業	<p>民生委員の協力により、ひとり暮らし高齢者等の緊急連絡カードを作成し、緊急時の見守り活動を行った。</p> <p>3,077 世帯（一関 990、花泉 357、大東 620、千厩 332、東山 225、室根 112、川崎 136、藤沢 305）</p>
福祉団体等への助成事業	<p>ボランティア団体等、福祉団体の活動を円滑に推進するため、各団体へ活動助成する。</p> <p>29 団体 3,642,300 円（本部 5、一関 10、花泉 9、大東 1、千厩 1、東山 1、室根 1、川崎 0、藤沢 1）</p>
食料支援事業	<p>一関市総合福祉センター及び千厩農村勤労福祉センターにフードポストを設置し、麺類やレトルト食品などの保存が利く食品を市民の皆様や企業、団体から寄附いただいた。寄附いただいた食品は、生活にお困りの方やひとり親家庭へ配付した。</p> <p>寄附いただいた食品：8,443 点 配布先：生活困窮世帯（延べ 28 世帯）、</p>

ひとり親世帯（7月、12月、3月 延べ199世帯）

生活支援課

・多様かつ複合的な福祉課題・生活課題の解決のため、総合相談に対応した。

事業名	内容
生活福祉資金貸付事業	<p>他の貸付制度が利用できない、収入の少ない世帯や障害者及び高齢者が属する世帯に対し、生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、生活資金の貸付を行った。新型コロナウイルス感染症による失業や収入減少で緊急かつ一時的な生活維持のための資金が必要な世帯や、生活に困窮し日常生活の維持が困難となっている世帯に対し、緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉資金 9件 1,601,000円(福祉費5件、緊急小口資金4件) ※前年度 8件 3,288,000円 教育支援資金 12件 6,989,000円(教育支援費6件、就学支度費6件) ※前年度 8件 4,598,000円 <p>令和5年1月よりコロナ特例貸付の償還が開始。滞納世帯の他、支援を必要と思われる世帯へくらしサポートセンターと連携し全支部において架電及び訪問を実施。免除、猶予等のフォローアップ支援を行った。</p>
たすけあい金庫貸付事業	<p>失業や疾病等による一時的収入減等により、生活維持が困難になった世帯に対し、応急的な資金として無利子で貸し付けを行う事業(限度額50,000円)</p> <p>貸付実績：一関：1件、大東：1件</p>
日常生活自立支援事業	<p>認知症や知的・精神の障害等により日常生活を送る上で必要なサービスを自分の判断で適切に利用することが難しい方について、利用手続きの援助や、公共料金の支払いなどを行った。併せて、日常生活に必要な生活費等の金銭管理の支援を行った。また、判断能力の低下がみられる方については、成年後見センターとの後見移行会議や、地域ケア会議等で関係機関と連携して成年後見制度の申し立ての検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解約8件(内訳：県外への引っ越し1件、金銭管理できる施設への入所3件、家族管理1件、死亡3件) ・専門員1人、成年後見コーディネーター1人、生活支援員24人(一関22人、平泉2人) ・生活支援員活動件数 805件 ※前年度703件 ・契約者数 55人 ・相談件数 延べ1,745件 ・新規受付人数42件 ※前年度 契約者数53人、相談件数1,981件、新規受付人数71件
生活困窮者自立支援事業	<p>生活困窮者に対しての経済的自立と生活の安定を目指し、関係機関と連携した自立や就労等の相談支援、家計改善に向けた相談支援を行った。</p> <p>R5年よりコロナ特例貸付の借受人に対するフォローアップ支援を生活福祉資金と連携して行い、訪問や、面談で生活再建の必要な利用者の相談に145件対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 217件 (うち、住居確保給付金1件) ・支援件数 2,813件(うち、住居確保給付金6件) ※前年度 相談件数 211件、支援件数 3,028件
緊急一時支援事業	<p>ホームレスやDV等の社会的孤立などにより支援が必要な方へ、家財の貸し出しや宿泊施設の提供などの緊急一時支援を行い、自立の援助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時宿泊支援5件 ・家電製品等の貸出0件 ・食糧等支援3件 ※前年度 一時宿泊支援0件 家電製品等の貸出1件 食糧等支援4件
成年後見制度利用促進事業	<p>令和5年4月1日に一関市役所福祉部長寿社会課内に設置された「一関市成年後見センター」について、支援相談員業務を受託し1名がその業務に当たった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成や、関係機関向け研修会を共催(12/11)

	<ul style="list-style-type: none"> ・任意団体での講演（10/30、11/26、3/12） ・権利擁護の地域連携協議会の基となる会議を開催（9/25、1/16） ・日常生活自立支援事業との連絡会議の開催 等一関市における成年後見制度利用促進に関わる業務 等、一関市における成年後見制度利用促進に関わる業務を行った。 <p>※相談件数 57 件（電話相談 29 件、窓口相談 24 件、その他 4 件）の市民と関係者からの相談に対応した。</p>
障害者生活支援事業	<p>障がい者（児）に対し同じ経験を持つピアカウンセラー（障がい当事者相談員）と共に、安心して社会生活を営めるよう必要な支援などの情報提供や助言を行った。また、必要な福祉サービス利用のための計画相談支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本相談件数 3,041 件（ピア 257 件含む） ・計画相談件数 1,606 件 ※前年度 2,677 件（ピア 342 件含む） ・計画相談件数 1,412 件 <p>基幹相談支援センターでは、障がい者（児）やご家族、または関係機関からの中核的な相談窓口として、障害福祉サービスの利用支援ならびに圏域相談支援専門員の人材育成などの事業を展開し、当事者及び関係者への支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センター 1,704 件 ※前年度 2,395 件
心配ごと相談所事業	<p>日常生活の悩みごと相談、援助に努めた。一関支部は、毎週木曜日に開設し、その他の花泉、大東、千厩、藤沢支部では、毎月第 2 金曜日に移動相談所を開設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日数 53 日、延べ人数 49 人、延べ件数 154 件 <p>家族関係の相談や貧困、近隣トラブルに関する相談があり、無料法律相談や、生活困窮事業、生活福祉資金貸付事業など、専門相談に繋いだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※前年度 開設日数 54 日、延べ人数 50 人、延べ件数 158 件
生活支援特設相談窓口開設事業	<p>生活に不安を抱えている世帯を対象とし、不安の解消を目的に総合相談窓口を一関市総合福祉センター、千厩農村勤労福祉センターで開設し、延べ件数 19 件の相談に対応した。</p> <p>開催日：令和 5 年 7 月 29 日、12 月 23 日、令和 6 年 3 月 17 日 協力機関：一関市（福祉課生活福祉係、こども家庭課子育て応援係）</p>

介護事業課

- ・高齢者や障がい者が住み慣れた地域で暮らせるよう、相談支援や介護・障がい福祉サービスを行った。

事業名	内容
事業所の拠点化・集約化	<p>質の高いサービス提供と持続可能な事業所運営を確立するため、効率的かつ効果的な事業規模による適正な事業運営と事業所の拠点化・集約化を段階的に進めた。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ケアプランセンターは、ケアプランセンター東山（令和 5 年 9 月末で休止、令和 6 年 3 月末で廃止）をケアプランセンター興田に集約し、4 事業所（花泉・東山・大東・興田）から 3 事業所（花泉・大東・興田）に拠点化・集約化した。 ② ヘルパーセンター、訪問入浴センター等の拠点化・集約化については、現状把握と課題整理のため、各事業所から聞き取り調査を実施した。 ③ デイサービスセンター大東施設整備については、社協全体の厳しい財政状況と現施設の老朽化を踏まえ、当面、現施設の改修等により施設運営を図ることとし、移転整備は令和 6 年度に設置するプロジェクトチームの中で検討することとした。

介護システムの一体的管理体制の構築	介護ソフトウェアの統一（令和4年度～令和5年度）について、令和5年度において花泉支部、東山支部、藤沢支部、しぶたみ地域包括支援センター、介護事業課に介護システムを導入し、2か年計画での導入を完了した。
地域包括支援センター事業	<p>高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域における総合的なマネジメント機能を担うため、地域包括支援相談（総合相談支援、権利擁護、虐待の早期発見・防止、包括的・継続的ケアマネジメント支援）、介護予防ケアマネジメント、高齢者虐待防止等の研修会を行った。</p> <p>※介護予防プラン 年間延件数（内委託件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,614 件（776 件）・大東、東山 3,438 件（1,242 件） 合計 5,052 件（2,018 件） <p>※前年度 年間延件数（内委託件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,507 件（643 件）・大東、東山 3,400 件（1,306 件） 合計 4,907 件（1,949 件） <p>※地域包括支援相談 年間延件数（※件数の計上方法変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,415 件・大東、東山 1,996 件 合計 3,411 件 <p>※前年度 年間件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 659 件・大東、東山 1,074 件 合計 1,733 件
ヘルパーセンター	<p>要介護及び要支援と認定された高齢者等に対し、訪問介護員が家庭を訪問して、日常生活の家事援助や身体介護を提供した。</p> <p>※訪問介護 年間延訪問回数（1日当たり訪問件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 11,250 回（31 件）・大東 3,396 回（9 件）・東山 4,207 回（12 件） ・室根 1,953 回（5 件）・藤沢 8,470 回（23 件） 合計 29,276 回 <p>※前年度 年間延訪問回数（1日当たり訪問件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 10,132 回（28 件）・大東 3,973 回（11 件）・東山 5,147 回（14 件） ・室根 3,167 回（9 件）・藤沢 10,416 回（28 件） 合計 32,835 回 <p>※訪問型サービス（総合事業）年間延訪問回数（1日当たり訪問件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,756 回（5 件）・大東 1,924 回（5 件）・東山 948 回（3 件） ・室根 646 回（2 件）・藤沢 2,250 回（6 件） 合計 7,524 回 <p>※前年度 年間延訪問回数（1日当たり訪問件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,673 回（5 件）・大東 1,852 回（5 件）・東山 1,094 回（3 件） ・室根 610 回（2 件）・藤沢 2,327 回（6 件） 合計 7,556 回
介護支援事業所	<p>障がい者の方に対し、訪問介護員が家庭を訪問し、日常生活の家事援助や身体介護サービスを提供した。</p> <p>年間延訪問回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 4,196 回・大東 984 回・東山 654 回・室根 165 回・藤沢 1,329 回 合計 7,328 回 <p>※前年度 年間延訪問回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 3,775 回・大東 912 回・東山 1,183 回・室根 261 回・藤沢 1,446 回 合計 7,577 回
訪問入浴センター	<p>在宅で入浴が困難な方、デイサービス等の利用が難しく、家庭の風呂を使っての入浴が困難な方のための訪問入浴介護サービスを提供した。</p> <p>※訪問入浴 年間延訪問回数（1日当たりの訪問件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東山 619 回（4 件）・藤沢 385 回（1 件） 合計 1,004 回 <p>※前年度 年間延訪問回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東山 614 回・藤沢 489 回 合計 1,103 回 <p>障がい者の方に対し、自立した日常生活又は社会生活を営むため訪問入浴サービスを提供した。（一関市からの補助事業）</p> <p>※障がい者地域生活支援事業</p> <p>障がい者入浴 年間延訪問回数 51 回（東山のみ）</p> <p>※前年度 年間延訪問回数 129 回（東山のみ）</p>

<p>デイサービスセンター</p>	<p>日帰りの施設介護サービスで、自宅からの送迎・入浴・昼食・余暇活動等のサービスを行い、一日を楽しく過ごせる通所サービスを行った。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、デイサービスセンター大東において感染拡大防止のため、3月1日から4日まで自粛営業を行った。</p> <p>利用定員数 大東 34 人、興田 30 人、東山 29 人、室根 18 人</p> <p>*通所介護 年間延利用回数(1日当たりの利用者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大東 6,649 回(21 人)・興田 6,828 回(22 人)・東山 6,140 回(19 人) ・室根 2,457 回(9 人) 合計 22,074 回 <p>※前年度 年間延利用回数(1日当たりの利用者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大東 7,097 回(23 人)・興田 6,479 回(21 人)・東山 5,960 回(19 人) ・室根 2,686 回(8 人) 合計 22,222 回 <p>*通所型サービス(総合事業)年間延利用回数(1日当たりの利用者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大東 1,307 回(4 人)・興田 1,048 回(3 人)・東山 910 回(3 人) ・室根 657 回(2 人) 合計 3,922 回 <p>※前年度 年間延利用回数(1日当たりの利用者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大東 1,051 回(3 人)・興田 1,126 回(3 人)・東山 1,324 回(4 人) ・室根 767 回(2 人) 合計 4,268 回 <p>*生活介護事業(身体障がい者等に対する生活介護事業)</p> <p>年間延利用回数 合計 4 回(東山のみ)</p> <p>※前年度 年間延利用回数 合計 119 回(東山のみ)</p>
<p>ケアプランセンター</p>	<p>依頼を受けてケアマネジャーが利用者宅を訪問し、ケアプランの作成や介護に関する相談、医療機関や各サービス事業所との連絡調整等を行った。またケアプランセンター東山は、令和5年9月末で休止(令和5年度末廃止)し、その事業区域をケアプランセンター興田に引き継ぎ集約化を図った。</p> <p>年間延利用者件数(月実利用者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,567 件(130 人)・大東 1,829 件(152 人)・興田 1,456 件(121 人) R5.10 より東山と統合 ・東山 484 件(40 人)R5.4 月から 9 月 合計 5,336 件 <p>※前年度 年間延利用件数(月実利用者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉 1,499 件(125 人)・大東 1,989 件(166 人)・興田 1,329 件(110 人) ・東山 1,152 件(96 人) ・室根 394 件(66 人)R4.4 月から 9 月 合計 6,363 件
<p>在宅介護支援センター</p>	<p>介護予防・生活支援等の総合相談、高齢者の実態把握、介護保険対象外の方への支援を行った。(一関市からの委託事業)</p> <p>年間延相談件数(月実利用者数) 東山 3 件(0.25 人)</p> <p>※前年度 年間延相談件数 東山 15 件</p>
<p>千厩ワークプラザ(就労継続支援B型)の運営</p>	<p>通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう就労の場を提供すると共に、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力向上のために必要な訓練等を行った。</p> <p>*主な就労内容 施設清掃業務、アウトドア用薪加工、農福連携事業、クロネコDM便、ふのりゴミ取り作業、機械用ウエス加工等</p> <p>*年間延利用者数 合計 3,552 人</p> <p>※前年度 年間延利用者数 3,593 人</p>

介護職員初任者研修	一関市内で介護の仕事に就こうとしている方又は従事している方を支援し、介護の担い手を育成することを目的に研修会を開催した。130 時間 23 日間 修了生 13 名 ※前年度 修了生 15 名
苦情等の処理	福祉事業・福祉サービス等各種の事業内容についての評価やサービスに関する苦情等に対応して公正を図るため、関係者以外から第三者委員を委嘱して適正な運営に努めた。
虐待防止等委員会の設置	介護保険事業及び障がい者支援事業所において、虐待防止等委員会設置要綱に基づき、虐待防止等責任者及び担当者を配置した。 (部門委員会の開催状況) 訪問介護部門委員会 10 月 13 日、通所介護部門委員会 10 月 17 日 居宅介護部門委員会 10 月 30 日、障がい福祉部門委員会 10 月 27 日
感染症対策委員会の設置	介護保険事業及び障がい者支援事業において、感染症の予防及びまん延防止対策を推進するため、感染症対策委員会設置要綱を定め、委員会を設置した。また、要綱に基づき事業所に感染症対策責任者及び担当者を配置した。 (部門委員会の開催状況) 訪問介護部門委員会、通所介護部門委員会、居宅介護部門委員会、障がい福祉部門委員会 いずれも 2 月 20 日

一関支部

事業名	内容
食事サービス事業	65 歳以上のひとり暮らしの方、高齢者世帯や障がい者世帯を対象に、月曜日から金曜日までの夕食を届ける食事サービスを実施した。配達業者の協力を得て利用者の安否確認や健康状態等の確認を行った。 料金は 1 食（主食・副食）400 円、副食（おかず）は 350 円。 ・食事サービスの利用者数と食数 延べ利用者数 765 人、食数 12,180 食、配食日数 243 日 ※前年度 延べ利用者数 710 人、食数 11,240 食、配食日数 243 日
理髪サービス事業	家庭での寝たきり者を対象に、理髪を行い、心身を爽快にするとともに、家族介護の軽減を図るため、理容組合一関支部の協力を得て訪問理容可能店舗を確認し、理髪サービスを実施した。利用申請者にサービス 利用券（1 枚 3,000 円）を交付し、理髪店は申請者が選択。利用券は、4～7 月申請は 3 枚、8～11 月申請は 2 枚、12～3 月申請は 1 枚交付した。 ・理髪サービス利用券交付状況 申請者 57 人、利用枚数 86 枚、交付枚数 155 枚、利用率 55.4% ※前年度 申請者 60 人、利用枚数 102 枚、交付枚数 166 枚、利用率 61.4%
水難物故者追悼法要	昭和 22 年のカスリン台風、23 年のアイオン台風の襲来により大きな被害を受けた災害を契機に災害のないまちを祈念し、追悼法要を実施した。
支部だより発行	一関地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。（10 月、3 月）

花泉支部

事業名	内容
さわやか大学	高齢者が要介護とならないよう、運動器の機能向上や認知症等介護予防の観点から、孤独感の解消及び、教養講座、日常動作訓練を行い、高齢者の自立を支援した。 会場：老松介護予防センター 延利用 199 団体 1,810 人 ※前年度 209 団体 2,061 人

福祉啓発事業	<p>①花泉地域保健福祉まつりの開催 地域住民の健康づくりや福祉に関する知識の普及と意識の向上を図ることを目的に一関市との共催で開催した。 内容：福祉作文表彰式・発表会、歯科医師講演会、他 開催日：令和6年2月29日 場所：花泉総合福祉センター 来場者：75人</p> <p>②花泉地域保健福祉活動紹介展の開催（花泉地域保健福祉まつりの一環） 地域団体やサロン等の活動紹介や作品展示をする花泉地域保健福祉活動紹介展を開催した。（ふれあいサロンや老松介護予防センター利用者による作品展示では30団体309人が作った653点の作品を展示） 開催日：令和6年2月21日～3月3日 場所：花泉総合福祉センター 期間中来場者：延べ325人</p> <p>③福祉作文募集、文集の発行（拡充） 児童生徒等に家庭や学校、地域での体験を通して感じたことを作文にすることで、福祉の心を育てる目的として実施した。全応募作品を作文集としてまとめ、関係機関、応募者等に配布した。また最優秀作品を掲載した花泉支部社協情報誌特集号を全戸配布した。 応募総数66点 福祉作文集120部発行</p> <p>④福祉作文表彰並びに最優秀作品朗読発表（花泉地域保健福祉まつり席上） 応募のあった福祉作文を審査し、優秀作品の表彰及び最優秀作品の朗読発表を行った。また最優秀賞作品の朗読発表の様子を録音して3月11日から14日にかけて、コミュニティFMあすもで放送した。 表彰：最優秀賞6名 優秀賞7名 朗読発表：最優秀賞6名</p> <p>⑤昔話・紙芝居の読み聞かせの開催 地域での子育てを応援するために開催し、ボランティアグループの訪問による昔話と紙芝居の読み聞かせを花泉地域の保育施設5施設で行い、子育て支援と交流を図った。 保育施設で10回開催 参加者延べ255人 ※前年度254人</p> <p>⑥キャップハンディ体験指導 地域の小中学校のキャップハンディ体験を通し、福祉の理解と相手を思いやる気持ちを高め、福祉の心を育てた。（小学校1校、児童85人参加）</p> <p>⑥ふれあい音もだちコンサートの開催 花泉地域での子育てを応援するために、親子が一斉に集まれる機会を提供し、仲間づくりの支援と交流を図ることを目的に開催した。 内容：キッズコミュニケーターなおちゃんによるファミリーコンサート。 演奏に合わせた歌遊び、バルーンアートや巨大風船の演出等。 開催日：令和5年11月23日 場所：花泉総合福祉センター 来場者：150人</p>
支部だより発行事業	地域福祉啓発のため、福祉活動や社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせする広報を全世帯へ配布した。（6月・9月・12月・3月）
ボランティア講座	<p>地域でのボランティア活動の理解と関心を深め、意識の醸成と啓発を図るために、ボランティア講座（庭木の剪定講座）を開催した。</p> <p>第1回 6月29日 会場：花泉総合福祉センター 参加者：11名 第2回 10月6日 会場：亥年コミュニティセンター 参加者：15名</p>
花泉総合福祉センターの指定管理	<p>地域の福祉の増進に資するため、住民、団体等の活動の場として、貸館を行うと共に管理を行った。</p> <p>年間利用者12,105人 ※前年度 10,218人</p>

大東支部

事業名	内容
ボランティア 機器貸出事業	学校行事や自治会活動等の地域事業の中で、機器等を使用し地域交流の機会とする。また、障害擬似体験用具を活用し障がい者理解や福祉教育の一助とした。 貸出：ポッチャ 23 件 その他 36 件
支部だより発 行事業	大東地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。（6月・9月・12月・3月）
食の自立支援 事業（委託事 業）	在宅の調理が困難な高齢者に対し、栄養バランスのとれた食事の配達と安否確認を行い、高齢者の健康と福祉の増進を図った。 年間配食数 839 食 月曜日～金曜日 昼食 ※前年度 1,067 食
高齢者外出支 援事業	町内の 65 歳以上のひとり暮らし高齢者の外出する機会と目で見えて楽しむ買い物をつくることを目的とし買い物ツアーを実施した。 期日：6月27日・30日 場所：千厩ショッピングモールエスピア 参加者：29人 協力者：16人（民生委員児童委員）
福祉学習助成 事業	未来の社会を担う子どもたちの福祉教育やボランティア教育の実践活動として地域社会との連携意識の高揚や福祉に関心や理解を深めることを目的として実践活動の助成を行った。 ①ボランティア学習・福祉教育の推進 ・小学校1校 20,000円 ②ふれあいひまわりサービス（友愛ハガキ）の推進 ・利用登録者数 84人 ③福祉学習・キャップハンディ体験への支援 ・小学校3校児童 59人参加 ・高校1校生徒 27人参加
大東福祉まつ りの開催	「支え合い 幸せ感じる 地域のくらし」の基本理念のもと、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを目指し、世代や障がいを越えた、子どもからお年寄りまで多くの住民が集い、住民相互の交流を目的として、「ゆいっこ広場川柳」の入賞者の表彰、入賞作品発表とふれあいサロン活動紹介の内容で開催した。 期日：11月25日 場所：大東コミュニティセンター室蓬ホール 参加者：58名 ゆいっこ広場川柳 応募者数：40人 応募作品総数：65点 入賞者・作品の紹介：大東図書館及び大東保健センターでの掲示 サロン活動紹介 6サロンの活動取材し、紹介DVDを上映

千厩支部

事業名	内容
理髪サービ ス事業	理容店の協力を得て、寝たきりの高齢者や障がいにより理髪店に行けない者に対し、自宅で訪問理髪を利用する際の利用料の一部を助成した。利用券(1枚1,000円)は年間7枚を上限に希望者に交付した。 対象者 16人 ※前年度 13人
高齢者等応援 事業	①生活サポート事業（年間4回） ひとり暮らし高齢者・ひとり暮らし障がい者世帯を対象に除草などの支援を行った。 ②イキイキ教室（対象者1人） 在宅の知的障がい者を対象に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、職員が対象者の自宅を訪問し見守りと記念品配布を行った。

	<p>③声の広報配布事業（利用者1人） 在宅の視覚障がい者等を対象に、ボランティアの協力により収録した市広報等をダビングし視覚に障がいがある方に配布した。</p> <p>④千厩こどもキッチン（年間1回） 食を通じた豊かな人間性の形成と、子どもが安心できる地域の居場所づくりを目的に千厩・小梨・磐清水市民センターと共同で開催した。</p>
高齢者等応援事業	<p>⑤交流サロン型サービス事業（年間1回） 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる生活支援サービスの展開を目指し、理容・美容・中華料理・クリーニングの各組合員を講師に自宅でできるマッサージや料理などの研修会を岩手県生活衛生営業指導センターと共催で開催した。</p> <p>⑥介護予防活動お出かけ応援事業（年間6回） 高齢者の介護予防活動の一環として、買い物機会の提供と介護予防「ひまわりカフェ」に参加し楽しむことで、フレイル予防の一助として、地元ショッピングモールを会場に開催した。</p>
せんまや健康福祉まつり	<p>障がい者・高齢者等の自立と社会参加の促進、市民の参画による支援者の拡大など、健康長寿のまちづくりに資するため、行政、関係団体と協働でふれあいサロン等の活動紹介や作品展示等による「せんまや健康福祉まつり」を開催した。</p> <p>内容：地域団体の活動紹介、ふれあいサロン作品展、医師講演会 他 参加者 321人（前年度 286人）</p>
支部だより発行事業	千厩地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。（7月、3月）
千厩農村勤労福祉センターの指定管理	<p>勤労者の福祉の増進に資するため、住民、団体等の活動の場として貸館・管理を行った。</p> <p>年間利用者 6,838人 ※前年度 5,669人</p>

東山支部

事業名	内容（目的・対象・見込数・場所等）
地域づくり支援事業	<p>地域住民が安心して豊かな暮らしを営むことができる地域社会をつくるために、「地域づくり講演会」を開催し、自主的な活力ある地域づくりを支援した。</p> <p>参加者 33人 ※前年度 31人</p>
支部だより発行事業	東山地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。（12月、3月）

室根支部

事業名	内容
見守り活動支援事業（尿取パッド支援）	<p>在宅介護者の労力軽減を図るとともに、民生委員の協力を得て尿取パッドを配布する際、寝たきり者等の状況把握と安否確認を行った。</p> <p>利用者 45人 延 342人（毎月1回実施）</p>
声の広報配布事業	広報いちのせきをボランティアが朗読、録音したカセットテープを、視覚障がいの方に配布した。 毎月1回録音 利用者2人
支部だより発行事業	室根地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。（6月、10月、3月）
理髪サービス事業	<p>理容店の協力を得て、寝たきりの高齢者や障がいにより理髪店に行けない者に対し、自宅で訪問理髪を利用する際の利用料の一部を助成する。利用券（1枚2,500円）は年間3枚を上限に交付した。</p> <p>利用者 21人（交付 57枚 使用枚数 35枚）</p>

むろね社協ふくしまつり	住みよい地域づくりをめざした市民の交流の場を目的として、各種団体、企業、学校関係の参加協力のもと開催した。 会場：室根きらめきパーク 参加者：700人 ※前年度 600人
-------------	--

川崎支部

事業名	内容
障がい者交流事業	障がい者の家族、支援者を対象に、障がいについての理解を深めるための交流会を開催し、障がい者が地域で安心して社会生活ができるよう理解を深めた。 参加者 71人
支部だより発行事業	川崎地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。(10月、3月)
ふれあいサロン活動展	ふれあいサロン活動展を開催し、地域住民へ活動の取組みの様子をパネルで紹介した。 出展数 12 サロン
川崎農村環境改善センターの指定管理	住民の福祉の増進に資するため、住民、団体等の活動の場として貸館・管理を行った。 年間利用者 3,302人 ※前年度 3,530人

藤沢支部

事業名	内容
ライフヘルプサービス事業(拡充)	藤沢地域における高齢者世帯や、ひとり暮らしの高齢者及び障がい者等の日常的な困りごと(介護保険のメニューにない、介護度がついていない等)に対する支援をボランティアの協力を得て行い、住民参加による共に支え合う地域福祉の推進を図った。 会員登録者数：利用会員 17人、協力会員 21名 年間利用実績：15件 ※前年度 16件
金婚を祝う会	結婚 50 周年を迎えたご夫妻を地域で祝福し、今後とも健康で活躍されることを願い毎年開催しているもので、令和 5 年度で第 27 回を数えた。福祉委員や民生児童委員の参加・協力も得て、舞台芸術鑑賞などを楽しみながら、金婚を迎えた喜びを分かち合った。 会場：縄文ホール 参加数：当祝者 11 組、参加総数 55 人 ※前年度 参加者数 22 組、83 人
福祉交流まつり	藤沢町産業福祉文化祭の福祉部門として、各祭と連携しながら開催した(展示、福祉販売、赤い羽根共同募金の各コーナー)。日頃より地域福祉に関心を寄せてくださる個人や各種団体と共に互いの連携を確認し合い、喜びを創り、地域福祉への理解と交流を深めた。 会場：藤沢文化センター 参加者：300人 ※前年度 250人
支部だより発行事業	藤沢地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等の情報を支部だよりとして全世帯と関係機関、関係団体へ配布し、地域福祉の啓発を図った。(6月、3月)
福祉学習の支援	福祉学習・キャップハンディ体験への支援 ・小学校 1 校児童 31 人参加 ・中学校 1 校生徒 49 人参加